

マレーシアの医療関係者、 被災者へのこころのケアを学ぶ

熊本県 益城町・西原村の経験から学ぶ

JICAは兵庫県こころのケアセンターの協力を得て、災害に見舞われることの多いマレーシアから精神医療に携わる関係者12人を招き、11月5日から11月15日まで「LEP2.0 被災者への心理的ケア」研修を実施しています。親日家として知られるマハティール首相が1981年に提唱した「ルック・イースト(日本の発展から学ぶ)政策」はこれまで脈々と続いており、マレーシアから多くの研修員が毎年派遣されています。近年マレーシアで発生する気候変動や熱帯性暴風雨から引き起こされる大規模な洪水や地滑り等の自然災害を受け、防災対策の重要性とともに、特に災害後の被災者への心理的ケアの重要性も高まっています。11月13日には、熊本県を訪問します。震災後、復興へと歩みを進める熊本県での被災者への心理的ケアの取り組みを実例として学びます。

滞在中は、「こころのケア」に関する調査研究、人材育成・研修、相談・診療、情報の収集発信・普及啓発、連携・交流など多様な機能を有する全国初の拠点施設である兵庫県こころのケアセンターにて災害時の被災者への心理的ケアを総合的に学びます。

日本語⇄英語の通訳も同行していますので、ぜひ研修員に取材していただければと思います。

【研修員】

医師・看護師・カウンセラー・保健省・教育省・社会福祉部局の行政官 12名

【行程】

11月13日(水)

予定時刻	行先	内容	住所
8:40~10:10	益城町 テクノ仮設住宅団地	◇ 益城町生活再建支援課 ・ テクノ仮設住宅団地の建設状況の説明(みんなの家) ・ テクノ仮設住宅団地(空室等)の視察 ◇ 益城町地域支え合いセンターキャンパス熊本 ・ 建設型仮設住宅における支援状況の説明(みんなの家)	熊本県上益城郡益城町大字小谷

10:25～11:45	西原村災害公営住宅山西団地	◇ 西原村復興建設課・災害公営住宅団地の建設状況の説明 ・ 災害公営住宅における支援状況の説明 ・ 災害公営住宅団地の視察	熊本県阿蘇郡西原村大字小森
13:00～16:20	益城病院	・ 病院内視察 [意見交換会] (益城病院会議室にて) ◇ 益城病院 ・ 病院の被災状況及び復興の歩み ・ 病院職員への支援状況の説明 ◇ 益城町地域支え合いセンター—minor i ・ 借上型仮設住宅における支援状況の説明 ◇ 熊本こころのケアセンター ・ 活動状況説明	熊本県上益城郡益城町大字馬水123

JICAは「誰一人取り残さない」を理念とするSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みを推進しています。当研修では、災害時の被災者へのケアを推進することによりSDGsのゴール3「すべての人に健康と福祉を」の達成に貢献します。



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第一課 立花 静香

TEL 078-261-0386 e-mail : Tachibana.Shizuka@jica.go.jp